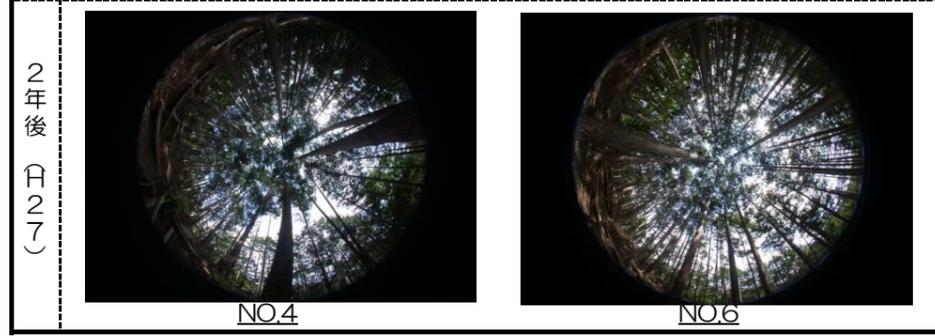


【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	94	50	
平均胸高直径(cm)	18.3	22.5	

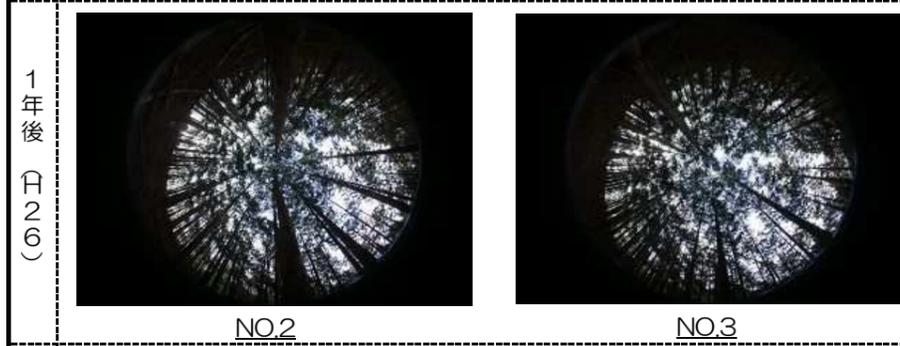
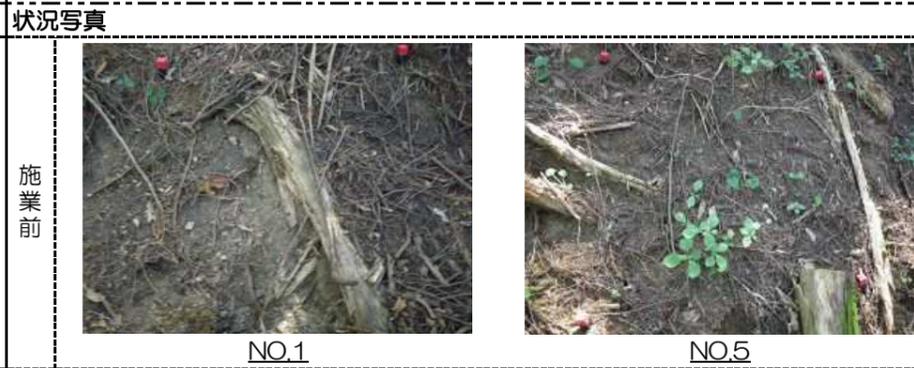
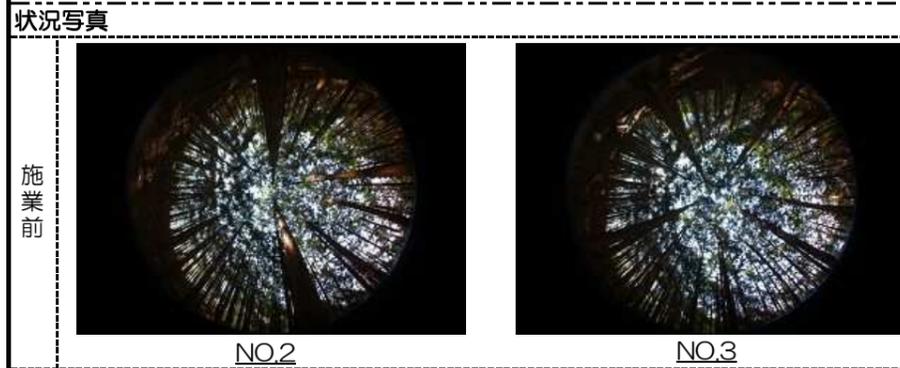
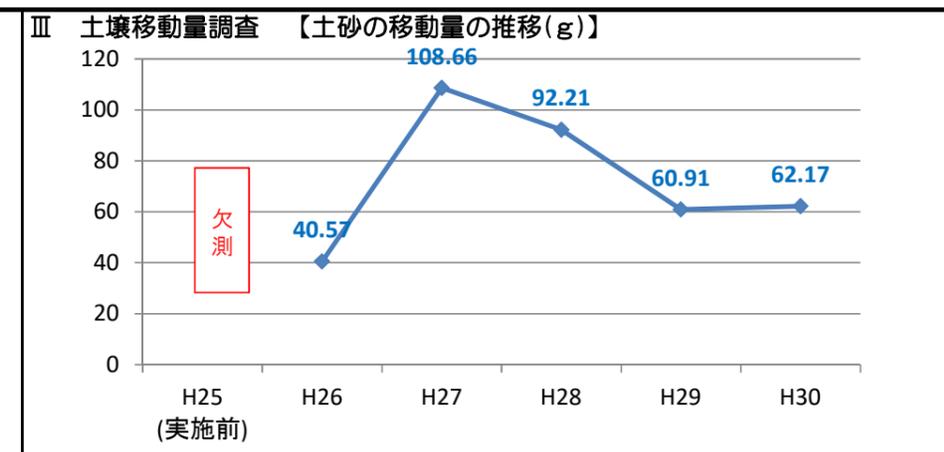
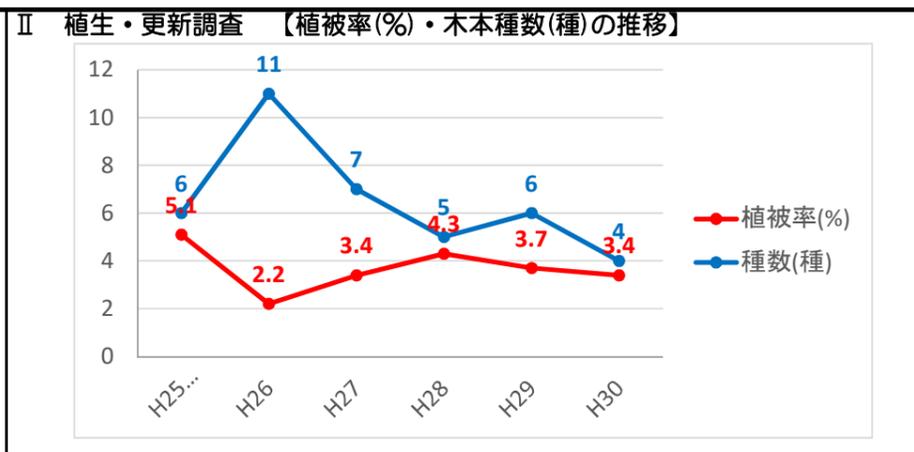
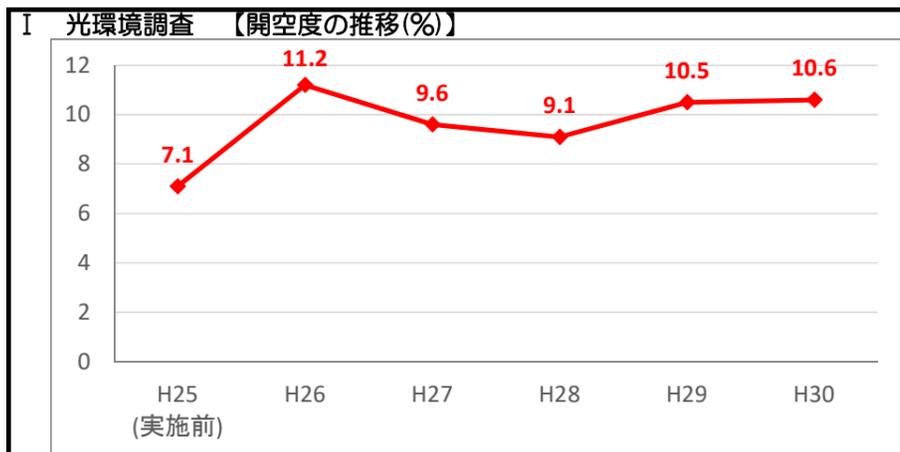
- 間伐の実施により、林内が明るくなった。
- 地表面の平均傾斜は32°と比較的急勾配。
- 伐採木が林内に残置されている。
- 腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。



【所見】

- 開空度は間伐後の状態が維持されているが、植被率に大きな変化はみられていない。
- 土壌移動量は減少しているものの、今後の推移を注視する必要がある。

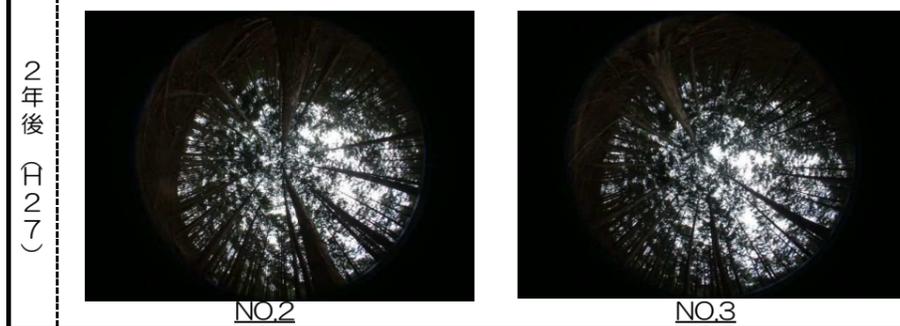
状況写真		状況写真			
3年後 H28	 <p>NO.4</p>	 <p>NO.6</p>	 <p>NO.4</p>	 <p>NO.6</p>	
4年後 H29	 <p>NO.4</p>	 <p>NO.6</p>	 <p>NO.4</p>	 <p>NO.6</p>	
5年後 H30	 <p>NO.4</p>	 <p>NO.6</p>	 <p>NO.4</p>	 <p>NO.6</p>	



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	62	43	
平均胸高直径(cm)	20.6	24.3	

- 間伐の実施により、林内が明るくなった。
- 地表面の平均傾斜は34°と比較的急勾配。
- 腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。
- 伐採木が林内に残置されている。



【所見】

- 植被率の回復は芳しくないものの、土壌移動量は減少した。
- 木本種数も減少しており、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真

3年後
H28



NO.2



NO.3

状況写真

3年後
H28



NO.1



NO.5

4年後
H29



NO.2



NO.3

4年後
H29



NO.1



NO.5

5年後
H30



NO.2



NO.3

5年後
H30



NO.1



NO.5



【施業前1】



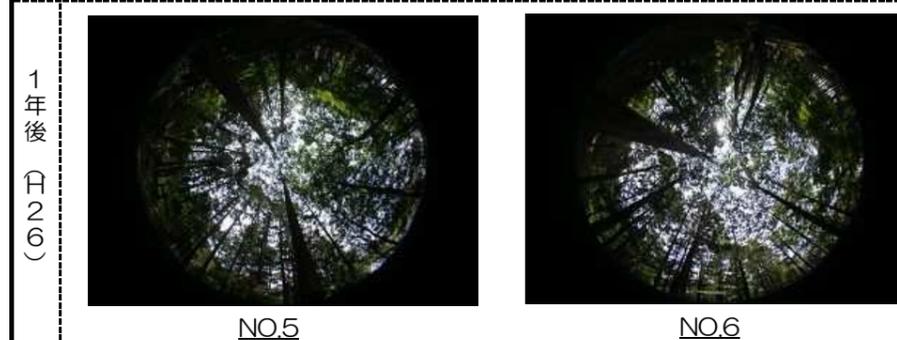
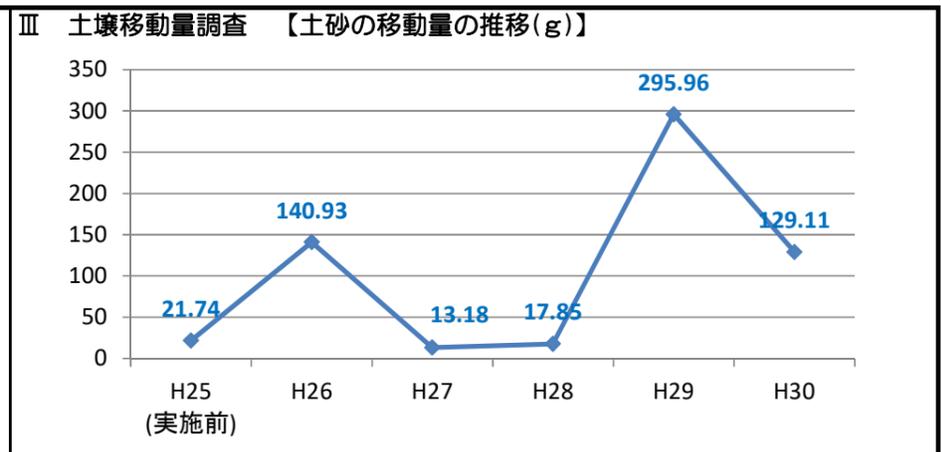
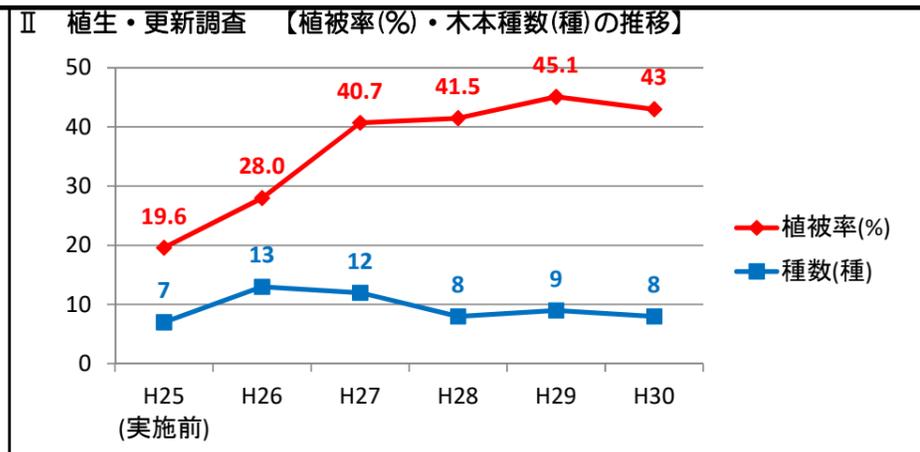
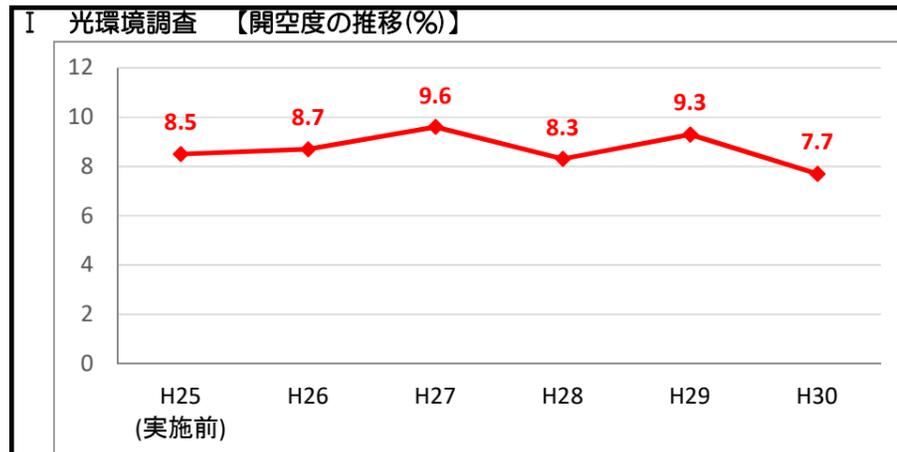
【施業後1】



【施業前2】



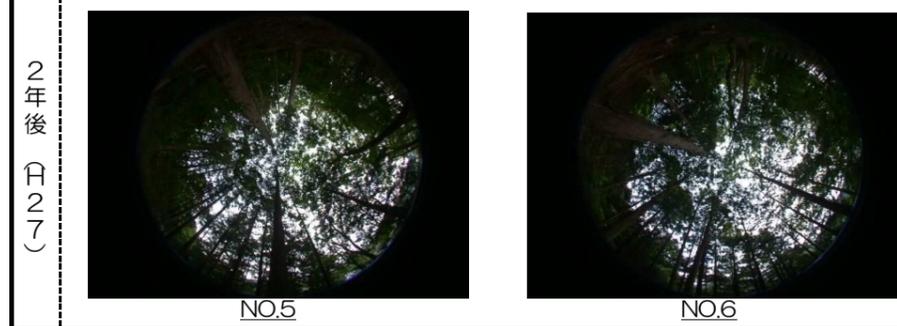
【施業後2】



【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	35	28	
平均胸高直径(cm)	26.4	31.4	

- 間伐の実施により、林内が多少明るくなった。
- 表土はスギの落葉等の層に厚く覆われている。
- 施業前から下層植生が比較的多く見られたが、更に増加している。



【所見】

- 植被率の増加傾向は継続している。
- 土壌移動量は、低下した。
- 木本種数の増加が緩慢であるため、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真

3年後
H28



NO.5



NO.6

状況写真

3年後
H28



NO.1



NO.3

4年後
H29



NO.5



NO.6

4年後
H29



NO.1



NO.3

5年後
H30



NO.5



NO.6

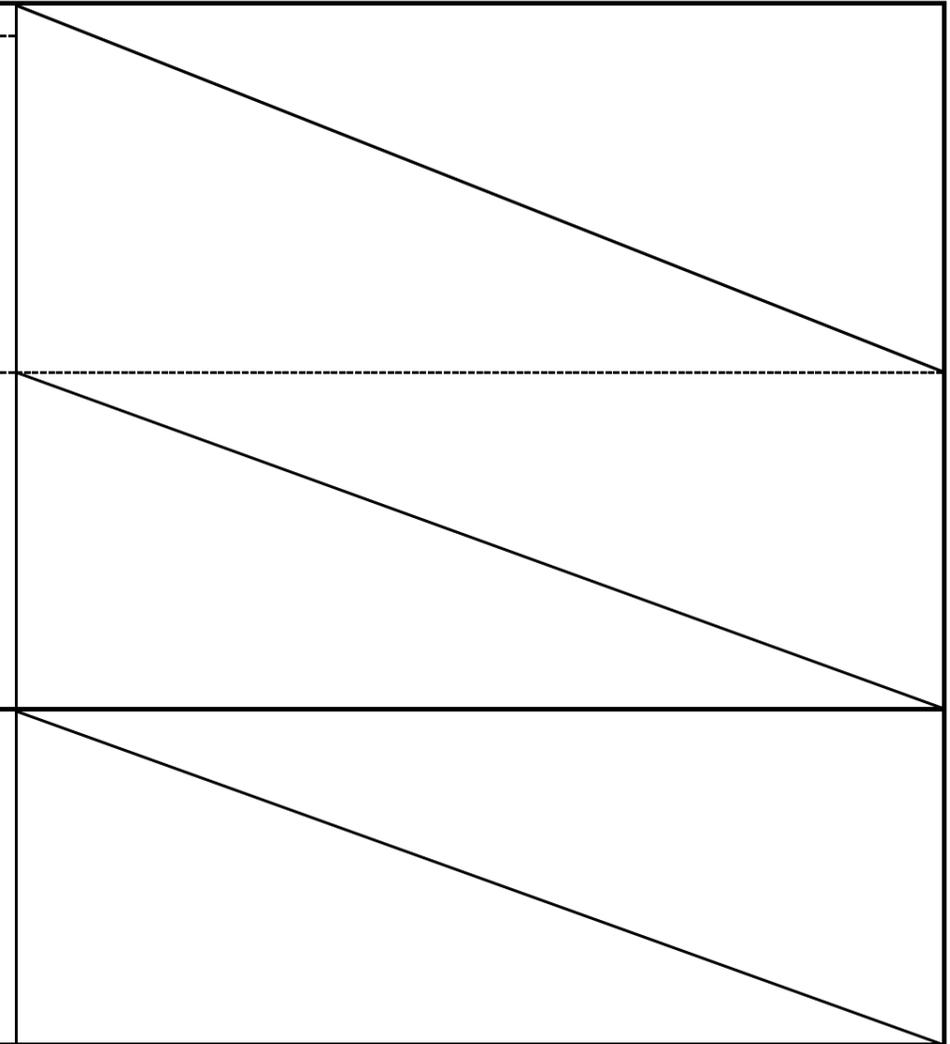
5年後
H30

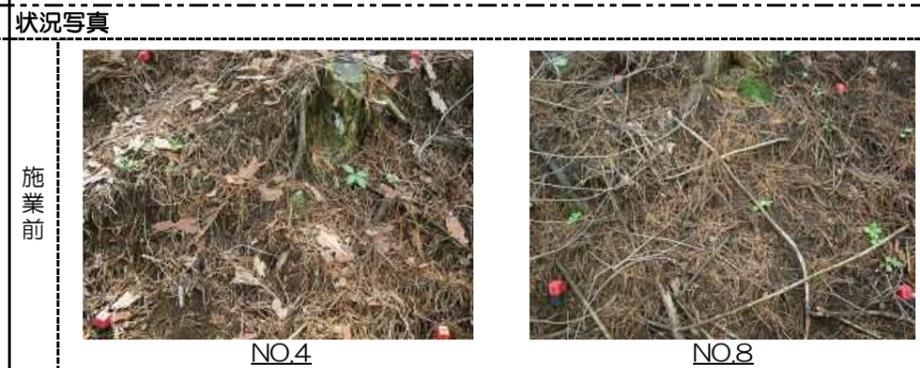
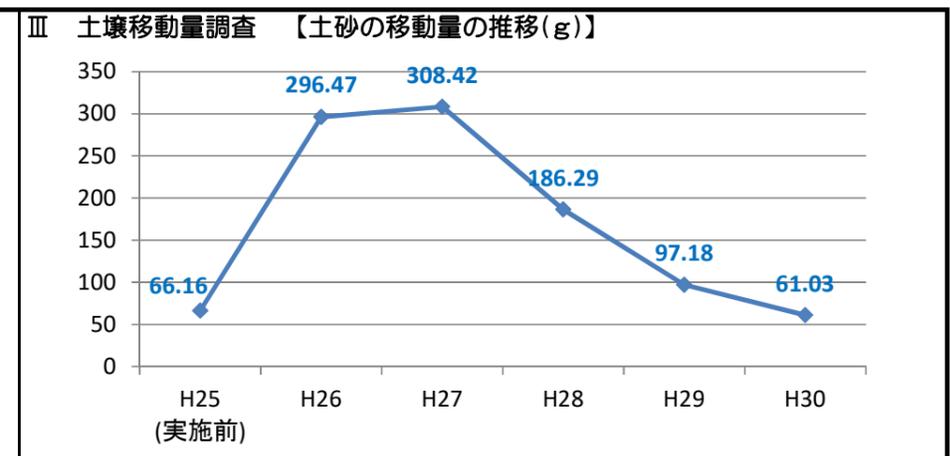
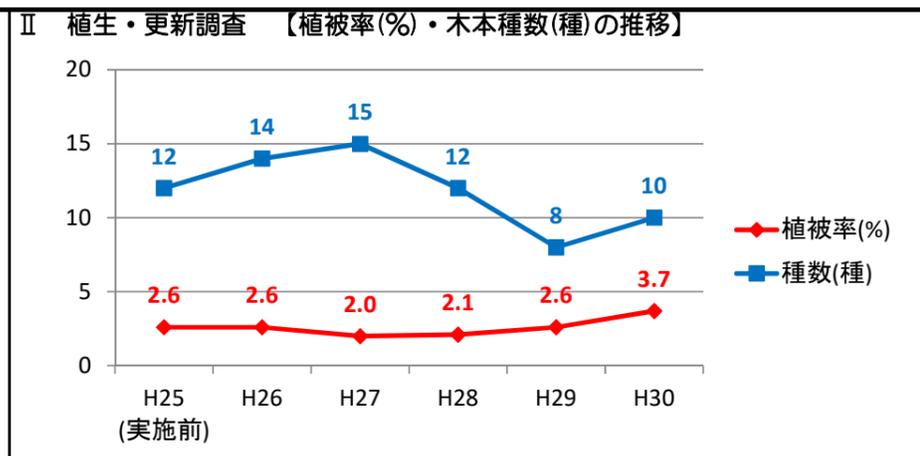
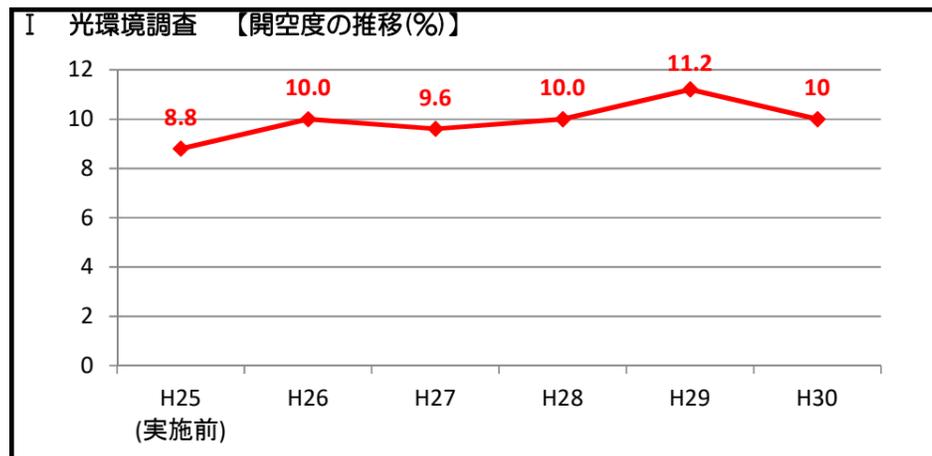


NO.1



NO.3





【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	44	37	
平均胸高直径(cm)	24.8	27.0	

- 間伐の実施により、林内が明るくなった。
- 地表面の平均傾斜は36°と急勾配で、岩砕に覆われている部分が多い。
- 腐植層は薄い。

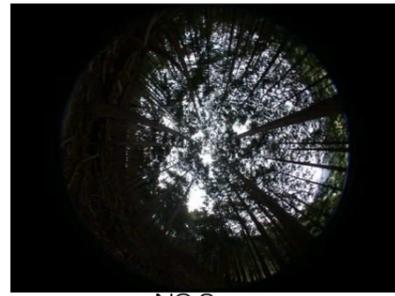


【所見】

- 開空度は間伐後の状態から若干上昇しているが、植被率の改善は緩慢である。
- 土砂移動量は低下したが、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真

3年後
H28



NO.2



NO.7

状況写真

3年後
H28



NO.4



NO.8

4年後
H29



NO.2



NO.7

4年後
H29



NO.4

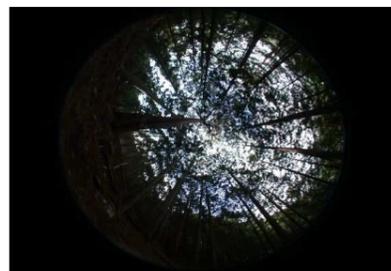


NO.8

5年後
H30



NO.2



NO.7

5年後
H30



NO.4



NO.8

